

昭栄精機のDX戦略について

1. はじめに

私たち昭栄精機は、切削加工のプロ集団として半導体製造装置、医療機器、光学機器、その他各種装置に組み込まれる小径精密部品を加工しています。当社では経営ミッション「モノづくりを通して、「究極の満足と安心感」を提供します」および経営ビジョン「お客様に頼られ、自ら誇れる仕事で皆を豊かに幸せにできる会社を目指します」を掲げ、日々業務に邁進しています。

昨今の金属切削加工業界においては、半導体を中心とした業界の景気減退、材料高騰、工具等の価格上昇、採用コストを含めた人件費、電気代等のコストアップ等で非常に厳しい状況となっています。こうした環境のなか、各事業者は生産性向上、業務効率化を推進していくことが迫られており、その解決策のひとつとして挙げられているのが「デジタル技術の活用」です。近年、「AI」、「IoT」、「5G」などデジタル技術の進展は目覚ましく、持続可能な企業運営を果たしていくためにはそれらの技術を活用することが必須であると認識しています。

当社では、今後「顧客に選ばれる企業」となっていくために、デジタル技術を最大限活用（従来業務のデジタル化／最新デジタル技術の導入／デジタル活用人財の育成）することで、競争優位性を確立していきたいという考えのもと、DX戦略を策定しました。

今後、昭栄精機はDX戦略を強力に推進し、短納期・少量多品種生産を実現する業務体制・業務内容の改善や、働きやすい職場環境の整備・高い技術を維持する技術継承を目指していきます。

2. 基本方針およびDX戦略

当社が掲げる経営ミッション「モノづくりを通して、「究極の満足と安心感」を提供します」および経営ビジョン「お客様に頼られ、自ら誇れる仕事で皆を豊かに幸せにできる会社を目指します」の実現に向けて、「（1）良好な財務基盤の実現」、「（2）価値創造型企業への変貌」、「（3）ブランディングの向上」というビジネスモデルの方向性を定めており、これら3つのビジネスモデルの方向性に紐づく以下の戦略を遂行していきます。

（1）良好な財務基盤の実現

戦略①「トップラインの増強～営業力強化～」 戦略②「製造現場改革～製造体制の強化～」 戦略③「収益構造の変革」

- DX見積もりシステムやAI図面探索技術を活用することで、営業から見積、試作品提供までのリードタイム短縮や質の高い試作品提供の実現を目指します。
- Chg.Rate概念を導入し、見積工数と実績工数の差異分析を実現し、見積価格の適正化およびコストコントロールを徹底します。

（2）価値創造型企業への変貌

戦略①「人財育成」 戦略②「技能伝承」 戦略③「研究開発」

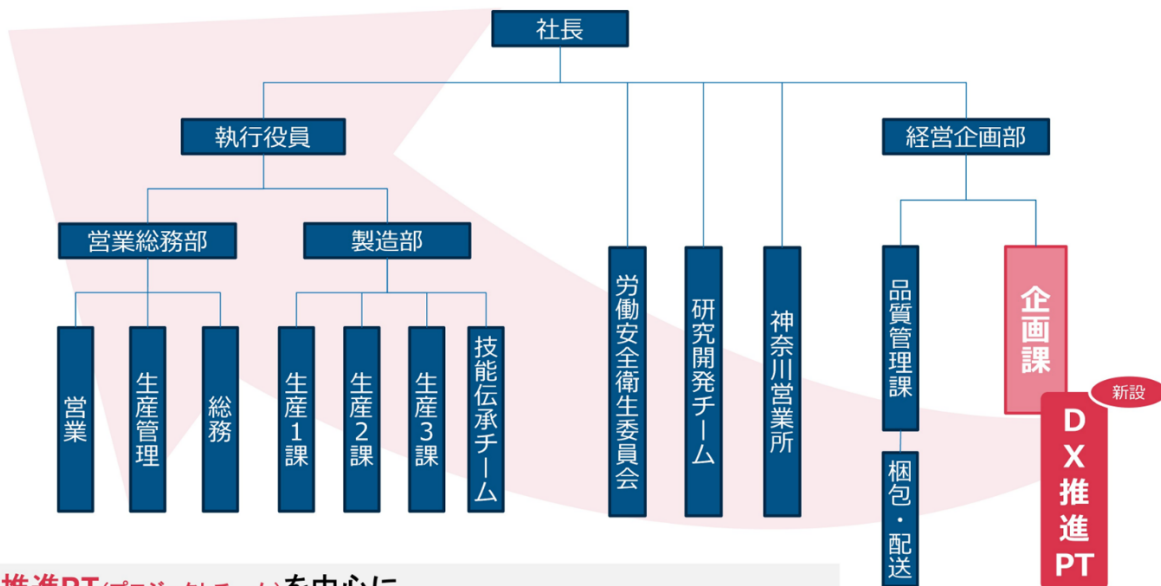
- DXリテラシー向上を含め、人財育成プログラムを策定し、若手から管理職まで階層別研修を実施します。
- zoomやビデオを活用した匠の技・技術の収録と勉強会を実施し、技術伝承の機会やノウハウを蓄積します。

(3) ブランディングの向上

戦略①「時流適応」 戦略②「情報発信」 戦略③「従業員エンゲージメントの向上」

- DXの取り組みを企業公式HP・note（ブログ）を活用して情報発信を行うことで、企業ブランディングを実現し、「お客様の信頼・高い技術による満足と安心」の価値を提供します。

3. DX推進体制および環境整備



DX推進PT(プロジェクトチーム)を中心に、
昭栄精機にDXの潮流を生み出し、DXの取り組みを加速していく

体制面では2022年に社長直轄の経営企画部を設置し、DX推進担当者2名配置しました。担当者を中心に全社的な取り組みとなるようDX戦略を推進しています。

人材育成については、社内で教育プログラムを策定し、デジタル活用人材の育成を検討しています。また、若手社員の採用計画や若手の育成を目的とした「若手育成道場」を設立しており、リテラシーの向上に向けた取り組みを始めています。

環境整備としては、お客様への価値提供に向けた生産管理システムの機能改善・改修、業務効率化・紙作業のデジタル化を図るバックオフィス関連のシステム整備などを実施していきます。

4. 達成度を測る指標

3つの基本戦略方針におけるDX戦略については、売上高（営業利益）向上に貢献するものであり、各達成指標として、それぞれ以下を定めています。

（1）良好な財務基盤の実現のDX戦略の達成度として、新規お取引先様の増加やバックヤード業務効率の改善成果を可視化する為の見積掲出件数・回答時間向上、利益率を指標と定めております。

（2）価値創造型企業への変貌 / （3）ブランディングの向上の達成度として、DX人財の育成及び、ICTツール（クラウド等）を活用した熟練技術の蓄積・伝承、SNSを活用した社内活動の発信などの取組みを指標として定めております。

（1）（2）（3）全ての指標はDXビジョン実現に向けたKPIとして、月次の経営会議にて報告、進捗管理を行い、各DX戦略の確実な実行と達成に向けて取り組んで参ります。

5. 取り組み内容の具体例

上記のDX戦略の実現に向けた取り組みは、情報配信サイト「note」の当社ページ（<https://note.com/shoeiseiki/>）にて公開しています。

以上